

放課後等デイサービス自己評価表

【集計結果】

平成31年3月11日
放課後等デイサービス デフキッズ 職員8名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		利用者が少ない時は、職員の勤務時間調整で対応させていただいている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	1	聴覚障害児・者が大勢を占める事業所なので、玄関チャイムなど音を知らせるフラッシュランプを室内に設置している。事業所に入所するために階段を利用するので、手すりや滑り止めを設置した。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3		日々のミーティングと毎週の定例ミーティングでPCDAサイクルを意識している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	3	将来的には設置していく方向で検討したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		打合せが出来ない時は意識してスタッフ同士で連携し合っ て情報共有を努めている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2		打合せが出来ない時は意識してスタッフ同士で連携し合っ て情報共有を努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	3		必ずしも複数組み合わせで活動するわけではなく、お子さんの参加状況、参加者個々人の状況に応じて最適な支援を行うことを第一に考えて活動している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2		学校行事などは保護者代表を通じて連絡連携を行っている。利用者の個々の状況については利用者保護者に直接連絡を取り合っている
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		現在医療的ケアが必要なお子さんの受け入れの実績はないが、必要であれば事業所の状況に応じた支援体制を構築していく。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		7	1	対象のお子さんがある場合は情報共有に努めていく
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	2	対象者がいる場合は情報共有に努めていく
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	2	研修参加を通して研鑽に努めている。全国的に聴覚障害児支援の専門施設が少ないため、全国規模の連絡協議会などで事例検討など研鑽を詰めるよう努力している
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	5	実績として交流の為に企画を設けても参加の人数が少ないことが多かったため、企画として活動を設けてはいない。しかし地域の公園で障害を持たない子どもたちと自然に遊ぶ流れができるなどの交流がある。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	5	人員の都合上参加実績はないが、関心を持ち続けたい
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		当事業所で開催する講演会などでは従前通り保護者の参加を促している	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	1	保護者会は年に1度開催している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			
	35 個人情報に十分注意しているか	7	1		業務内外問わず個人情報について意識を促す
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	5	人員・資金的に事業所としての行事を設けていない。人員数と資金面がクリアできるのであれば小さい企画を設けることができる	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	備考
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	4		やむを得ず身体拘束を行う場合は最小限にとどめるということを周知徹底している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4		職員同士での情報共有を引き続き密に連携を取っていけるように意識していく

職員から提出された、放課後等デイサービス自己評価表のチェック項目ごとに、はい、どちらともいえない、いいえ を集計して提出してください。
特記事項があれば、備考欄に記入してください。